

# Real-time PCRの基礎と活用

Real-time PCRは遺伝子定量を行う上で重要なツールです。医学研究支援センター(ドラッグディスカバリーセンター)では StepOnePlus、QuantStudio™ 6 Flex Real-Time PCR システムを設置しています。  
本説明会ではサーモフィッシャーサイエンティフィック社から講師をお迎えし、Real-time PCRの基礎からトラブルシューティングを含む実験のポイントまで解説して頂きます。詳細は別紙要旨・スケジュールをご確認ください。  
皆様のお申込をお待ちしております。

日時：2022年7月11日(月) 15:00-16:30

開催形態：オンライン(Zoom)

定員：100名

申込方法：以下のURLからお申込みください。  
<https://forms.gle/eXz5hCygRn5U6TMc7>

※切：2022年7月8日(金) 13:00  
締め切り後、申込者全員にZoom接続情報等をメールでお知らせします。



申込URL

==== 説明会・機器利用に関する連絡・問い合わせ先 ====  
京都大学大学院医学研究科 医学研究支援センター ドラッグディスカバリーセンター  
メール：[info@support-center.med.kyoto-u.ac.jp](mailto:info@support-center.med.kyoto-u.ac.jp)  
URL：<http://support-center.med.kyoto-u.ac.jp/SupportCenter>

この説明会は「令和4年度  
医学研究技術実習」  
受講時間にカウントされます  
受講時間：2時間



HP  
連絡用  
メール  
アドレス

# Real-time PCRの基礎と活用

## 【要旨(講師の方より)】

リアルタイムPCRは遺伝子発現解析に欠かすことができない手法となります。今回のセミナーでは臨床検体を含めたRNAサンプル取扱いの注意点を含めて、リアルタイムPCRを行うにあたり必要な基礎知識と実験のコツをご紹介します。これから研究を始める方も更に良好なデータを出したい方にもお役に立つ内容を提供いたしますので、この機会に是非ご参加ください。

## 【スケジュール】

### (1) RNA抽出やサンプル準備の注意点(約30分間)

- 回収したRNAの品質評価のポイント
- 逆転写反応やcDNA溶液取扱いのコツ
- 臨床系検体からの解析注意点 など

### (2) リアルタイムPCRの基礎原理と活用法(約60分間)

- リアルタイムPCRの基礎原理
- 蛍光ケミストリ(TaqMan法/ SYBR Green法)の選択
- 遺伝子発現解析方法(検量線法/  $\Delta\Delta$ CT法)
- 内在性コントロール選択のコツ
- 良好な結果を出すための分注操作 など